

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール					
No.	646	配信日	2025/12/28	ジャンル	業界情報
テーマ	世界のブランドルーツ② -スイス編（時計）-				

前回はなぜスイスが「世界の時計王国」と呼ばれるのか、その背景を整理しました。
今回は一歩踏み込み、スイス時計の中でもブランドごとに果たしている役割の違いに注目します。
同じスイス時計でも、ロレックス・オメガ・その他ブランドでは
市場で求められる役割・価値の置き所がまったく異なります。
この違いを理解しているかどうかで、査定トーク・仕入れ判断・お客様への説明力に大きな差が出ます。

1.ロレックスの役割：時計＝資産というポジション

ロレックスは、スイス時計の中でも「実用品 × 資産価値」を最も強く確立したブランドです。

●ロレックスの特徴

- ・圧倒的な知名度
- ・モデル数を絞った戦略
- ・定期的な小変更（仕様差）で常に話題を作る
- ・世界共通で換金性が高い

ロレックスは、「時計を楽しむ」よりも「時計を持つ意味・価値」を提供しているブランドと言えます。

2.オメガの役割：実績と信頼の技術ブランド

オメガはロレックスと並ぶ知名度を持ちながら、立ち位置は大きく異なります。

●オメガの特徴

- ・NASA 公式採用（スピードマスター）
- ・オリンピック公式計時
- ・ムーブメント技術の進化（コアクシャル等）
- ・比較的幅広い価格帯

オメガは「歴史・実績・技術」を語るブランド。ロレックスが資産なら、オメガは信頼と実績です。

3.その他スイス時計ブランドの役割：嗜好性と富裕層市場

ブランド名	市場での立ち位置・役割	中古市場での特徴	商談で語れるブランド小ネタ・歴史
PATEK PHILIPPE	時計界の最高峰。 資産・相続・コレクション 目的の時計	流通量が非常に少なく、モデル・年代・付属品で価格差が極端に出る	次の世代のために所有する時計と言われている、購入者も投資や相続目的が多い。市場に出回る数自体が少ないので、状態や付属品で評価が大きく変わる。
AUDEMARS PIGUET	富裕層・ファッション層向け。デザイン性とステータス性	ロイヤルオークを中心にモデルによる相場差が非常に大きい	人気モデル以外は動きが鈍い。状態・サイズ・年式で相場変動が激しい。一本当たりの製造数が少ない。
IWC	実用性・質実剛健を重視する玄人向けブランド	回転は早くないが、一定の需要が安定して存在	もともと実用時計の思想が強く、軍用・航空用の背景がある。派手さよりも作りを評価する方が選ぶブランド
BREITLING	航空・クロノグラフ系に強く、男性人気が高い	サイズ感やデザインで評価が分かれる。モデルごとの人気差が大きい	ブライトリングはパイロット向けに作られてきた時計で、サイズ感が大きいのもその名残。好みをはっきり分かれる。
ZENITH	ムーブメント評価が高く、時計好きに支持される	エル・プリメロ搭載モデルは評価されやすい	ゼニスとは自社ムーブメントエル・プリメロが有名。ロレックスのデイトナにも使われていた時代があり。
JAEGGER-LECOULTRE	技術力重視の通好みブランド	レベルソなど代表モデルは安定	ジャガールクルトは時計師のための時計師と呼ばれていて、他ブランドのムーブメント製造を担っていた歴史があります

スイス時計は「高級」という共通点がありながら、ブランドごとに価値の置き方や評価されるポイントが異なります。
その違いを理解して商談に臨むことが、お客様の納得感を高め、仕入れを安定させる近道となります。
知識として終わらせず、ぜひ商談の中で一言添える形で活用していきましょう。